

# 第152回HSE (Health care Sales Engineer) セミナー開催のご案内

## 10年以上続く、薬局経営に特化した情報を発信

HSEセミナーは2010年1月に開始し、これまで100回以上、200名を超える講師をお呼びしてきました。調剤報酬だけではなく、規制緩和、他業種の参入と薬局を取り巻く環境は大きく変化しています。変化をいち早く察知し、対応することが求められます。薬局経営には「医療・介護・小売業」という視点が必要になります。HSEセミナーでは業界に精通した講師はもちろん、小売業の側面から薬局に必要な知識を他業種からも講師をお呼びしています。

全国から集まる仲間たちとこれからの薬局経営を一緒に考えてみませんか。群雄割拠の時代を迎えた薬局業界。情報こそが平等に与えられた経営資源です。

### 第152回(2024年9月開催)のコンセプト

2025年「患者のための薬局ビジョン」を目前に薬局業界はどのように変化をしていくのでしょうか。日本薬剤師会も約10年ぶりの新会長が誕生し、新しいビジョンが問われます。第1講義には薬剤師業界を代表する日本病院薬剤師会会長をお呼びし、違った視点から薬局薬剤師へのビジョンを聞いてみたいと思います。薬剤師業界に向かい風が吹く中、職能団体同士が手を結び1枚岩になれるのかは今後の動向のカギとなります。

第2講義には薬剤師業務の見える化に必要な調査研究を行う講師をお呼びしました。議論をするにはデータが必要です。その多くが厚生労働科学研究費による調査です。これまで行ってきた調査から何が見え、今後どのようなデータを出していくことが必要なかを伺ってみます。

第3講義は日本老年薬学会から公表された「高齢者施設の服薬簡素化提言」の作成メンバーをお呼びし、高齢者施設におけるポリファーマシー、減薬提案、そして服薬簡素化について伺ってみたいと思います。

#### 講師①

「病院薬剤師会から見る薬剤師のこれからと薬局との連携」(仮)  
武田 泰生 氏 (一般社団法人日本病院薬剤師会 会長)

#### 講師②

「薬局・薬剤師に求められる変化～厚労科研事業の取組より～」(仮)  
益山 光一 氏 (東京薬科大学 教授)

#### 講師③

「高齢者施設の服薬簡素化提言を踏まえた服薬支援」(仮)  
東山 和美 氏 (パプテスト老人保健施設 主任薬剤師)

講演内容裏面をご確認くださいませ⇒

### 詳細

開催日：2024年9月20日(金) 13:00～17:00  
21日(土) 10:00～12:00 ※2日間のセミナーです

場所：ビジョンセンター田町 「2D」  
(東京都港区芝5丁目31-19 ラウンドクロス田町)  
JR田町駅または地下鉄「三田駅」ちかく

参加費：50,000円(消費税別)/名 (同一法人の場合、お二人目から25,000円)

※お申し込み後のキャンセル、返金にはご対応できませんのでご確認の上お申し込みくださいませ

お問合せ

株式会社Kaeマネジメント

東京都台東区浅草橋3-1-1TJビル3F

TEL：03-5829-6659 mail：seminar[@]kae-management.com

# 講演内容

## ■ 武田 泰生 氏 (一般社団法人日本病院薬剤師会 会長))

約10年ぶりに日本薬剤師会新体制が始まります。薬剤師業界に向かい風が吹く中、今後の動向で気になるのが日本病院薬剤師会との関係です。二分化している体制が一枚岩となれるのかに注目が集まります。病院薬剤師会の視点から薬局業界について伺ってみたいと思います。「卒後臨床研修の義務化」という議論も出ていましたが、病院薬剤師の不足が今後の議論の一つとして上がっています。病棟業務の充実、タスクシフトの先には外来業務の効率化、薬薬連携の強化があります。今後どのような変化が起きるのかを予想し、未来を考えたいと思います。

## ■ 益山 光一 氏 (東京薬科大学 社会薬学教育センター 薬事関係法規研究室 教授)

厚生労働科学研究費というものを皆さんはご存じでしょうか。厚生労働省から委託された調査研究であり、診療報酬改定や規定改定に向けた重要な事業といえます。少し大げさですが、厚労省の描くビジョンに対しそのデータを提出する調査研究ともいえます。今後の業界動向を占う非常に重要な研究になります。24年度改定においてもデータの出典を見ると講師の名前の記載を多く記載されています。多くの研究データを出してきた講師から薬局薬剤師の職能の見える化には何が重要なかを伺ってみたいと思います。今後の調査結果が報酬改定に影響を与えることも大いにあります。

## ■ 東山 和美 氏 (パプテスト老人保健施設 主任薬剤師/日本老年薬学会 評議員)

日本老年薬学会が公表した「高齢者施設の服薬簡素化提言」をご覧くださいでしょうか。その提言は「服薬回数を減らす」「昼1回へのまとめを積極的に検討する」です。多くの薬局が高齢者施設へ介入していますが、焦点は配薬方法や服薬管理にあてられています。しかしながら薬剤師の職能は管理方法だけではなく、いかに「提案」をしていくのかというところにあります。施設では慢性的な人材不足、また「誤配」などといった介護事故への課題を抱えています。薬局薬剤師が関わることにより、入居者にも連携するスタッフにもメリットのある提案が、「服薬の簡素化」ではないでしょうか。施設調剤も過渡期を迎える中、改めて薬剤師だからできることを考えます。

## HPからのお申込み

お申込みはHPから、またはFAXでお受けしております。WEBからのお申込みは右記QRコードを読み込んで頂くか、当社HPからお願いをいたします。



FAXでのお申込みは、以下の必要事項を記載しFAX送付して頂きますようお願いいたします。

## FAXでのお申込み 03-5829-6679

氏名	
貴社名	
ご住所	〒
電話番号	
E-mail	
懇親会	参加 ・ 不参加

〔 終了後近隣のお店で開催  
会費5000円程度 〕

※お申し込み後ご請求書を送付いたします。

お問合せ 株式会社Kaeマネジメント 東京都台東区浅草橋3-1-1TJビル3F

TEL : 03-5829-6659 mail : seminar[ @ ]kae-management.com